

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】

( ①歴史・文化施設 )

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	3	施設名	掛川市二の丸茶室			担当課名	地域支援課
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市茶室条例					
	(2)施設設置目的	茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図る。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	茶室、庭園。建築面積202.9㎡ 広間、小間、立礼席の3茶室がある。入館者への開館時間は午前9時30分から午後5時まで。(11月1日から1月31日までは午前9時30分から午後4時30分まで) 毎月第4月曜日休館。年末12月29日から1月3日まで休館。部屋貸し出し使用可能。					
	(4)施設建設年度	平成13年7月11日 から 平成14年 3月15日 まで					
	(5)耐震性能の有無	無					
	(6)将来予想される改修経費	正面玄関の門の修築					
	(7)指定管理者名	(財)掛川市生涯学習振興公社					
	(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成26年3月31日 まで					
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 456 千円)					
	(11)指定事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 千円)					
	(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 23 年度)					
区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
2 施設利用状況	(1)施設利用者数	14,342	14,821	15,872			
	施設・設備ごと	入館者	13,346	13,588	14,070		
		使用者	996	1,233	1,802		

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	497	506	523			
	(3)運営日数	347	347	348	347		
	(4)運営人員	①正規職員					
		②臨時職員	6.0	6.0	6.0	6.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,049,762	7,282,829	7,582,592	7,482,000	
	②印刷費				20,000	
	③通信費	6,073	53,623	140,750	155,000	
	④事務用品、旅費、図書費など			3,330	60,000	
	⑤借上料	55,440	133,040	131,040	194,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	2,790	4,060	397,452	353,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	19,700	19,700	41,330	55,000	
	計	7,133,765	7,493,252	8,296,494	8,319,000	
	対前年度増減率			5.0	10.7	0.3
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	5,561,497	956,242	4,620,756	4,674,000	
	警備保障業務	327,600	317,520	317,520	318,000	
	空調機保守点検	182,700	182,700	182,700	183,000	
	庭園維持管理	4,592,960	0	3,675,000	3,700,000	
	浄化槽維持管理点検	112,948	112,980	112,980	113,000	
	清掃業務	345,289	343,042	332,556	360,000	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	488,292	186,732	0	100,000	
	③光熱水費	685,868	730,975	744,315	750,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	3,630,578	3,032,799	3,038,435	2,970,000	
	計	10,366,235	4,906,748	8,403,506	8,494,000	
	対前年度増減率		△ 52.7	71.3	1.1	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		17,500,000	12,400,000	16,700,000	16,813,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		40.8	60.4	49.7	49.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		5,321,550	5,440,250	5,456,900		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		74.6	72.6	65.8		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	5,321,550	5,440,250	5,456,900	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	17,500,000	12,400,000	16,700,000	
a)-b)	△ 12,178,450	△ 6,959,750	△ 11,243,100	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	茶道文化の普及及び伝承と市民文化向上のため、入館者には丁寧な対応がなされ、苦情等の投書は発生していない。また、目的である茶道文化普及のため、自主事業や講座を開催し市民文化の向上に努力している。入館者は前年を482人上回った。	茶室とは固いイメージがあり、市民に馴染めない。気軽に入れるようなPRが必要である。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	利用者満足度調査を行い結果を検討し、年度ごとに対応方法などを話し合っている。入館者は横ばい状態から徐々に増えている。掛川城にいられた方の約1割が入館され、地元の方には茶室を茶会などに使用されている。	アンケート調査結果によれば職員の対応について満足されている方が大方である。入館者は増えているので、今後も地道に事業を進めていく。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか  ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として收受させることができる制度。	管理運営費の算出根拠は妥当であり、削減も図られている。	現状が削減の極みに達しているのだから以上の削減は無理と思う。23年度の実績からすれば二の丸茶室管理費19,860,754円で収入5,456,900円であり、収益率27.4%で14,403,854円の持ち出しであった。湧水亭管理費は9,273,723円で収入は1,070,150円であり、収益率11.5%で8,203,573円の持ち出しであった。このような状況の下、利用料金制度への移行は利用料金制度と指定管理料併用制ならば移行が出来ると思う。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	二の丸茶室の入館者は1万4千余人、湧水亭の入館者は2千3百余人あり、お茶の街掛川の茶道文化普及と承継のため必要な施設であり、茶文化を伝えていく上で効果のあるものと判断する。	二の丸茶室は掛川城公園内にあり、湧水亭は昔の町並みの中、江戸時代中期の豪商の庭園の中にありそれぞれ立地状況・背景も異なり独自性がある。このような状況の中、統廃合するには関係機関との調整が必要であり、一方の茶室の利用方法についても検討が必要となる。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	指定管理者への収入を増やすために、ホームページ、雑誌等でも二の丸茶室のイベントのPRを行い、入館者を増やす努力をしている。維持管理においては、現在建物の老朽化により、玄関の門の開閉に苦慮しているため、正面玄関の門の建て替えが必要である。	指定管理者の収入を増やすには二の丸茶室をさらにPRし、入館者を増やしていく。

5 その他自由意見